



金澤北ロータリークラブ



悠然見南山(ゆうぜんとして、なんざんをみる)

大徳寺510世・義山良忠管長筆 作者・陶淵明一帰去来兮の辞より

●意味 東側の垣根に只、菊を手折りに来た作者。ふと頭を上げるとそこに南山が目に入る。山は、無心にその姿を現し、山も悠然と淵明を見る。心の塵を払わなければ、見る人も、見られる山も一枚にはなれない。

月心寺主・勝田 泰玄訳

「茶の湯」よもやま噺 (1)

「茶の湯」の成立

吉井 宗清
(茶道教室「臥龍庵」主宰)



私たちが親しんでいる茶道、「茶の湯」が千利休によって大成されたことは誰もが知るところであるが、千利休以前、利休の「茶の湯」の思いの根幹を成す精神に極めて大きな影響を与えた村田珠光とその師である一休宗純については見逃されることが多い。

千利休以来 400 年以上を経て、茶道が今に受け継がれている所以は、茶道が単なる遊芸の一種に墮すことなく、その精神性、「心」を問題として捉えられたからに他ならない。

利休を中心とする、「茶の湯」研究の資料として最も信頼され、よく取り上げられている著述に「南坊録」があるが、その中から利休が語ったと伝えられる一文を紹介してその「思い」を知っていただきたい。

「小座敷の茶の湯は、第一仏法を以って修行得道する事也、家居の結構、食事の珍味を楽とするは俗世の事なり、家は漏らぬほど、食事は飢えぬほどにて足ること也、是佛の教、茶の湯の本意也、水を運び、薪を取り、湯を沸かし、茶をたてて、佛にそなえ、人にもほどこし、吾ものむ、花を立て香をた

く、みなみな佛祖の行いのあとを学ぶ也、なお詳しくはわそうの明めにあるべし」
(南坊録覚書より)

1. 茶の湯の歴史

●茶の伝来とその展開

茶を喫することを示す記録は古く、中国で茶が飲まれていた事を窺わせる史料として古書「僮約」(54 BC)の奴隷売買証文に「武都で茶を買う」との文言がある。また中国唐時代の文人、陸羽(733 AD~804 AD)は「茶経」を著し、茶の原産地や茶の製法、飲茶法を細かに述べている。

●日本の喫茶

日本臨濟宗の開祖、栄西(1141 AD~1215 AD)は中国から抹茶法を伝え「喫茶養生記」を著し茶の効用を説いた。

京都高山寺の明恵上人(華嚴宗の僧)は栄西から「柿の蒂茶入」に入った茶種を贈られ梅の尾で栽培に成功、以後この梅の尾の茶を本茶と称するようになった。

その後、宇治でも栽培され宇治での最初の茶園「駒の蹄影園」がしられる。

「都賀山の尾上の茶ノ木分け植えて、あとぞ生うべし駒の蹄影」

●婆沙羅の茶寄り合と「闘茶会」

室町期にいたって、足利幕府の守護職、佐々木道譽(1296 AD~1373 AD)ら

は賭け事にも似た茶寄り合いを催し流行した足利尊氏あしかがたかうじ（1305 AD～1358 AD）は施政方針「建武式目けんむしきもく」の中で「群飲佚遊制ぐんいんいつゆうせいせらるべき事」と、これを戒めている。

●唐物莊嚴からものしょうごんの世界、書院茶しょいんちやの形成

室町幕府第3代將軍足利義満あしかがよしみつ（1358 AD～1408 AD）は同朋衆どうぼうしゅうを置き「唐物莊嚴からものしょうごん」の世界を作り上げた。このことは「喫茶往来きつさおうらい」に記されているが、のちに現れる「利休の茶りきゅうのちや」の原型となっている。

室町幕府第8代將軍足利義政あしかがよしまさ（1436 AD～1490 AD）は東山文化を形成した中心人物で慈照寺じしょうじ（銀閣寺とうぐどう）東求堂内に書院を造った。また三阿弥のうあみ げあみ そうあみ（能阿弥、芸阿弥、相阿弥父子三代）

など同朋衆どうぼうしゅうと呼ばれる芸術家かかを抱え茶の湯にも通じていた。

●わび茶への道

足利義政あしかがよしまさの師事した奈良称名寺しょうみょうじの僧、村田珠光むらたしゅこう（1423 AD～1502 AD）は一体宗純いっきゅうそうじゆんに参禅し「下々の茶の湯しもじも」と称して書院の茶に対し、禅の境地を裏打ちとした「茶禅一味ちやぜんいちみ」の境涯を深めた。

「藁屋わらやに名馬つなを繋ぎたるがよし」は、わび茶への道を示す珠光しゅこうの心持を良く表している。

この精神は武野紹鴎たけのじょうおうへ、そして千利休せんりのきゅうへと伝えられ、利休の「茶の湯」として大成たいせいされた。

理事・役員名簿 《2006.7～2007.6》

会 長 (理事)	米沢 真二	ロータリー財団 (理事)	汐井 俊彦
会長エレクト (理事)	小間井宏尚	米山記念奨学会 (理事)	玉田 善明
副 会 長 (理事)	磯野 洋明	職 業 奉 仕 (理事)	佐賀 務
幹 事	松田 忠秋	ク ラ ブ 奉 仕 (理事)	米澤 修一
副 幹 事 (理事)	中田 龍一	例 会 (理事)	山上 公介
会 計	勝田 浩之	会 員 選 考 (理事)	安宅 雅夫
直 前 会 長 (理事)	高畠 菊丸 (新世代兼任)	企 画 (理事)	高島 聰
社 会 奉 仕 (理事)	小泉 幸雄	広 報 (理事)	乙村 舜吉
環 境 保 全 (理事)	中村 實博	修 練 (理事)	長谷川 塑人
地 域 開 発 (理事)	本岡三千郎	親 睦 (理事)	桜田 鉄次
国 際 奉 仕 (理事)	沢田 光夫	友 好 (理事)	飯田 安彦

第1561回例会

11月17日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

金沢聖霊総合病院 院長 大下陸郎氏
「その話はウソでした③」

2. 出欠

出席40名 欠席26名
出席率60.61% ビジター5名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 野上兵一 横山英勝
金沢南RC 清水真人 岩澤崇史
金沢西RC 宇都宮道夫

4. 幹事報告

- ・本日例会終了後、理事会を開催いたします。
- ・12月1日(木)はクラブ年次総会と致します。

ニコニコボックス

高島君 先日タイへ行ってきました。
川面君 講師に大下先生をお迎えして。本日も宜しくお願
い致します。
吉井君 過日行われた、第82回ゴルフコンペで優勝させて
頂きました。

合計3,000円(累計300,000円)

第1562回例会

12月1日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. 講話

真味の会 中西静子氏
「病の80%は誤った食生活が原因③」

2. 出欠

出席40名 欠席26名
出席率60.61% ビジター5名

3. 来訪者(敬称略)

金沢東RC 東 裕俊
金沢南RC 高桑 明 加藤英資 浜上 満
金沢西RC 坂井美紀夫

4. 皆出席顕彰(敬称略)

26カ年 長谷川壘人

5. お誕生日祝い(敬称略)

8日 磯野洋明 大澤久廣
9日 川口喜樹
10日 木下和吉

6. ご結婚記念日祝い(敬称略)

2日 沢田光夫
20日 木下和吉 二塚長生

ニコニコボックス

高島君、勝田君
「裏を見せ、表を見せて 散るモミジ」今年も残
すところ一ヶ月。ロータリーも後半年分となりま
した。今後ともご協力をお願い致します。
次年度役員選考には、関係各位のご協力をいただ
きまして、ありがとうございました。中西先生、
本日も宜しくお願ひ致します。



川面君、木村(功)君

講師に中西先生をお迎えして、今回も宜しくお願
い致します。

坂口君 大変遅くなりました。10月11日に長女まいが結婚
しました。同じ市内ですので、時々は顔を見せに
きてくれます。

大澤君 誕生月を迎えて。

桜田君 お誕生日祝いのお花をありがとうございました。

合計16,000円(累計316,000円)

理事会報告

11月17日(木)出席者18名

◆ 審議事項

① IM(都市連合会・百万石RCホスト)の件
平成18年2月12日(日)全員登録とする
平成18年2月16日(木)の例会をIMに振り替えとする。

② 第22回金沢市柔道錬成大会決算書報告

③ 年忘れ会の件

12月15日(木)午後6時30分より松魚亭にて
ゲストに、芸妓さんを迎え、お茶屋文化を体験してい
ただく

④ その他

◆ 各委員会報告

・国際奉仕委員会

書き損じ葉書をよろしくお願ひします。

ポールハリス・フェロー推奨の件 委員会にて検討

・会員選考委員会

毎月委員会を開催し、会員拡大に努める。

11月クラブ日誌

3日(木・祝) 日本伝統工芸展鑑賞会

石川県立美術館にて

6日(日) 金沢市少年柔道錬成大会

石川県立武道館にて

10日(木) 11月定例理事会

松魚亭にて

第52回 北遊会成績

平成17年11月17日(土)

ソーシャルにて

優勝 磯野 進吾

準優勝 駒栄 敏雄

第3位 沢田 光夫

第4位 渡邊 聡

第5位 米沢 真二

B B 高島 聡

参加者

汐井俊彦、濱井弘利、川面正雄、山上公介、

長原俊之、銭亀賢治



講話予定

1月12日(木)

演題：年男 今年の抱負
二塚長生君



会 長：高島 菊丸 S A A：吉井 清

会長エレクト：米沢 真二 会 計：濱井 弘利

副 会 長：小間井宏尚 広報委員長：中村 芳明

幹 事：勝田 浩之 会 員 数：67名

副 幹 事：松田 忠秋 クラブ設立：昭和48年10月3日

例 会 日：木曜日 12:30~13:30

例 会 場：松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事 務 局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882

E-mail:k-kitarc@aqua.hokuriku.ne.jp



この会報は再生紙を利用しています。